

# 日本産業カウンセリング学会第14回大会 研修会のご案内

## 1. 日時・会場

(1) 日時 : 2009年8月28日(金) 9:30~16:30 (9:00~受付開始)  
 半日コース 3時間 午前9:30~12:30/午後13:30~16:30  
 一日コース 6時間 午前9:30~午後16:30

(2) 会場 : 法政大学 市ヶ谷キャンパス



### ●主なターミナルからの交通アクセス

18	東京駅	JR中央線快速-約4分	御茶ノ水駅	JR総武線-約4分	飯田橋駅	徒歩-約10分	市ヶ谷キャンパス
20	新宿駅	JR総武線-約10分			市ヶ谷駅	徒歩-約10分	
20	池袋駅	地下鉄有楽町線-約10分			飯田橋駅	徒歩-約10分	
19	渋谷駅	地下鉄半蔵門線-約6分	永田町駅	地下鉄有楽町線-約3分	市ヶ谷駅	徒歩-約10分	
20	上野駅	JR山手線-約4分	秋葉原駅	JR総武線-約6分	飯田橋駅	徒歩-約10分	

※ 内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す

## 2. 研修コース一覧

	コース	タイトル	講師(敬称略)
1日コース	A	精神分析的カウンセリングの実際	川上 範夫 (元奈良女子大学)
	B	認知行動療法	福井 至 (東京家政大学)
	C	プレイバック・シアター	小山田 治子 (C. H. R. 研究所)
	D	ヘルピング・スキルとしてのアクティブ・リスニング	寺田 正美 (働く人の心とキャリアの相談室)
	E	システムズ・アプローチ入門	平木 典子 (東京福祉大学大学院)
午前コース	F	産業カウンセリングとアセスメント	宮崎 圭子 (跡見学園大学)
	G	メンタル・ヘルスとストレス・コーピング	小澤 康司 (立正大学)
	H	就業形態の多様化	杉 忠重 (東洋学園大学)
	I	産業カウンセリングに必要な労働法に関する知識	古山 善一 (全国労働基準関係団体連合会)
	J	アサーションの理論	今野 能志 (行動科学研究所)
	K	キャリア・コンサルタントの役割・使命と技能検定への動き	木村 周 (東京成徳大学)
午後コース	L	産業カウンセリングとキャリア・カウンセリング	小澤 康司 (立正大学)
	M	インタラクティブ・フォーカシングとリスニング	諸富 祥彦 (明治大学)
	N	精神医学の基礎知識	尾久 裕紀 (白梅学園大学)
	O	アセスメント／バウムテストの実践的活用	足立 智昭 (島根大学)
	P	研究倫理－質的研究の進め方と倫理的配慮－	松下 由美子 (山梨県立大学)

### 3. 研修内容

#### A:「精神分析的カウンセリングの実際」

関西カウンセリングセンター常務理事  
前・奈良女子大学 川上 範夫

産業カウンセリングのメンタル支援領域において精神分析的方法は必須の技能知識です。また、キャリア支援領域においても対象者の状況理解と種々のコンサルテーションにおいて精神分析的人間理解の方法は大きな力を発揮します。今回は、精神分析的思考の基本軸である無意識理解に基づく人格理解と治療的関与の実際について体験的に学修していただきたいと考えています。フロイトの精神分析から始まって自我心理学、自己心理学、対象関係論、さらには各種の応用的アプローチまで幅広くとりあげて、参加者ご自身にライブで体験していただくことにしているので、楽しみにご出席いただければと思います。

#### B:「認知行動療法」

東京家政大学 福井 至

現在、医療場面では「うつ病に対する認知療法」をはじめ、各種障害に対する認知行動療法の効果が認められ、世界的に広まってきています。また、産業カウンセリング場面でも、中央労働災害防止協会編「働く人の心の健康の保持増進-新しい指針と解説」で認知行動カウンセリングの効果が指摘されたように、認知行動療法を応用した認知行動カウンセリングが広まり始めました。この講座では、認知行動療法の初歩から実践まで、わかりやすく研修していきます。

当日は、論理療法のためのJIBT-Rと、うつ病の認知療法のためのDACS、および気分を測定するDAMS、そして新任管理職研修のためのMIBTという実際場面を使いやすい質問紙(すべてこころネット株式会社発行:<http://www.kokoronet.ne.jp/fukui/index.html>)を利用して講義を進めます。研修では、これらの質問紙を用いた、容易で確実な認知行動療法の実施法を具体的にお伝えします。

なお、当日質問紙の代金として 600 円を別途徴収させていただきます。

#### C:「プレイバックシアター」

C HR 研究所 小山田治子

心理劇分野の一つであるプレイバックシアター(以下 PT)が、日本に初めて紹介されたのは 25 年前ですが、今では世界 50 カ国以上に広まり、対立民族融和政策にも利用されるようになりました。本来心理療法を目的に開発されたものではありませんが、現実にはPTに参加することで、心の開放や癒しの体験、また長年抱えていた問題解決のきっかけが得られ、グループカウンセリングと同じような効果が見られます。一部の企業や役所では創造性開発・コミュニケーション・チームワーク・メンタルヘルス等の研修にも取り入れられています。

理屈抜きでまず身体を使って体験し、右脳と感性を刺激し感じることで、新たな自分の発見も期待できますし、人と繋がる喜びも味わえると思います。楽しく、無理なく、自然な流れの中でのワークショップは、理屈の世界では得られない深遠な体験となるでしょう。

「人は誰でも自分の話を語りたいし、聞いてもらいたいものだ」と言われます。それは今週の職場での話かもしれないし、心の中にある子どもの頃の思い出かもしれません。語った場面が即興劇で演じられたとき、心に温かいものを感じるでしょう。

アメリカのグループが作ったDVDもご紹介します。

動きやすい服装でご参加ください。

#### D:「ヘルピング・スキルとしてのアクティブ・リスニング」

働く人の心とキャリアの相談室 寺田正美

傾聴を絶対視したり、逆に「傾聴だけではねえ」とか「初心者でも傾聴ならクライアントは傷つきませんよ」などという言葉が聞かれます。長年月、カウンセラー養成やスーパービジョンそして企業組織での管理職研修等に関わってきて、実践してきたことがあります。今回「ヘルピング・スキルとしてのアクティブ・リスニング」と題して、「現実社会の中で具体的に役立ってこそそのカウンセリング」ということを基盤にしながら、「傾聴」を考えてみたいと思っています。今回は、面接室でクライアントに向き合う時のみならず、企業社会で働くということや広くは人生への向き合い方としてもアクティブ・リスニングを拓いてみたいと思います。

実際にカウンセラーが現場での言動をどうするのかということは、カウンセラーとしてのあり方が問われてい

ることでもあります。Be、Do、Theory の3局面を考察し、さらにその統合を目指すということはどういうことでしょうか。能動的に関わりを持つとする積極的傾聴を会得し、体得することにはどういう意味があり、どう自己の成長に役立ち、他者への援助となるのかを考えながら、‘気持、指示性、協働、内省化、概念化’等々をキーワードにして、講義だけではなく、ワークも体験しながらすすめていきたいと思っています。

#### E:「システムズ・アプローチ入門」

東京福祉大学 平木 典子

システムズ・アプローチは、別名「家族療法」とも呼ばれますが、それは家族療法が「システム理論」を援用して、人間が生き、関わっている世界を多様な要素が相互につながり、作用しながら変化していくシステムとして理解しようとしたところに由来します。

働く人たちがグローバルな社会と経済の揺れに振り回され、一番身近な家族を巻き込んでいる様子や、逆に家族や学校、コミュニティの危機が働く人々へのストレスにもなっている現在、システムック(システム論的)なものの方・考え方は、われわれの日常をふり返り、変えていくためのヒントをくれます。今回は、家族システム理論を中心に、家族・職場の心の健康の理解、支援について考えます。

#### F:「産業カウンセリングとアセスメント」

跡見学園女子大学 宮崎 圭子

往々にして、カウンセラーは、療法、技法の学習には熱心ですが、アセスメントに対しては、少々、関心が薄いようです。また、さらに問題なのは、「アセスメント」に誤った観念をもっているカウンセラーも散見されます。アセスメントは、心理的援助サービスの対象者(クライアント) について、その人の人格、状況、問題を規定する要因に関する情報を収集し分析し、その介入の方針を立てる作業です。簡潔に言ってしまうと、クライアントがどのような状態なのかを正確に査定し、それを基にカウンセリングをしていくことです。つまりは、アセスメントなくしてカウンセリングなしということになります。この講座では、心理アセスメントの概論からはじまり、「理解する、対策を立てる、対処する」というプロセスをくりかえしながら、よりよい援助の方向性をたえず模索していくアセスメントと、心理テストという道具を使用したアセスメントの方法を概要します。そして、実際に、実技学習(被験者は皆さん) を組み込み、多面的、総合的、全人的な角度からとらえ、それらを報告書の中にどう反映させていくかまで、学習します。

#### G:「メンタルヘルスとストレスコーピング」

立正大学 小澤 康司

不確実な社会が進展し、世界的な経済競争によって、国や企業も生き残りをかけた構造改革が迫られ、企業は採算の取れない事業からは撤退し、新たな事業へとシフトすることが常となっています。働く人たちも配置転換やリストラ、過酷な仕事、不安定な生活等が余儀なくされ、誰もが安定した人生を描くことが困難となってきました。このような社会的な背景の中で、メンタルヘルス不全へのケアや過労死、自殺等の対策が急務であることは言うまでもありませんが、事後対応ではなく、事前にどのように予防するかが重要です。

この研修では、ストレスコーピングをセルフケアとして、また職場のラインケアの手段として活用することが予防や回復の効果的な方法であり、その活用法を議論します。

#### H:「就業形態の多様化」

東洋学園大学 杉 忠重

今次の不況下、企業は世界競争の中生き残りをかけて経費の削減を進めています。人件費も例外ではありません。具体的には就業規則を改正し、例えば次のような人件費削減施策が進められています。雇用形態の多様化は「正規・非正規」、「若年・中年・高齢」、「国内・海外」、「エリート・非エリート」、等々さまざまな切り口で制度改正がおこなわれています。労働者・社員は制度的に分断されてきています。具体的な人事給与制度名でいえば「年功序列制度」、「職務給制度」、「職能資格制度」、「コンピテンシー制度」などがあります。世界競争の中では企業は最も効率のよい制度を導入することは当然ではありません。しかし、そうした就業形態の多様化は社員の孤立化を進めているように思われます。

この研修会では、そうした現状を学ぶと同時に、さまざまな人事制度の特徴を学びます。参加者各人が、自己のかかわる企業の社員が持つであろう悩みや苦悩について考え、ワークライフバランスの重要性を再認識していきたいと思えます。

労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法などの法は、その基準を下回る労働条件で雇用し、雇用されることを禁止することにより、労働条件の最低の基準を確保するとともに、その改善及び向上のための方法を整備することを内容とし、履行確保を図るための組織として地方労働局・労働基準監督署があります。

いま、産業構造の変化、雇用労働者数の増大のなかで現代の日本社会にふさわしい労働法が整備されつつあり、この分野は変革期にあるといえますが、その理念とするところは、安心して働ける、豊かな勤労者生活の実現にあります。研修では、そのために定められている法定労働条件の基本的枠組を示したいと思います。

## J:「アサーションの理論」

行動科学研究所 今野 能志

カウンセリングにおいてカウンセラーが問われるのは“Do”や“Theory”に加えて“Be”が問われます。つまり、Beはカウンセラーとしての“在りよう”です。

一般的にカウンセラーのトレーニングではクライアントのメッセージをきちんと受け取るためのアクティブ・リスニングだけが強調され、きちんとフィードバックができるためのトレーニングがあまり行なわれていません。もし、カウンセラーに鏡としての役割を求められとするならば、うなずきやあいづちや繰り返しだけでは極めて不十分であり、鏡としての役割を果たしていないこととなります。カウンセラーがきちんとフィードバックすることができてはじめて鏡の役割を果たしていることとなります。

このコースでは、カウンセラーとしてアサーティブなレスポンスができるようになるためのアサーションの理論を解説します。

## K:「キャリア・コンサルタントの役割・使命と技能検定への動き」

東京成徳大学 木村 周

現在、学校教育、就職支援、職業能力開発の各分野を繋ぐかたちで「キャリア・コンサルティング制度」とそれを推進するキャリア・コンサルタントが社会的な広がりを持ってきています。キャリア・コンサルティングは、もともと、職業能力開発促進法に基づく雇用政策の一環として行われる「働く人のためのキャリア形成支援」ですが、その内容は産業カウンセリング、キャリア・ガイダンスとカウンセリングと深い関係を持っています。また、これから働く世界に入る生徒、学生のキャリア教育、職業を求める人のための職業指導、現に働いている労働者の職業能力開発や企業の人事・労務管理制度にも密接に関係します。平成13年この制度が発足して「雇用政策上の5つのインフラ」、「事業主が講ずべき措置に関する指針」、「能力評価試験に係る基準項目」、「各試験機関による試験の実施」などが行われ、キャリア・コンサルタントは5万数千人余に達しています。さらに国がその技能を公証する熟練レベルの「技能検定」も開始されました。

この研修では、キャリア・コンサルティング制度の意味、これまでの経緯、何をするのか、技能検定化の動き、今後の課題、産業カウンセリングとの関係などについて皆さんとともに考えたいと思います。

## L:「産業カウンセリングとキャリアカウンセリング」

立正大学 小澤 康司

産業カウンセリングは、「すべての働く人たちのためのカウンセリング」であり、また、「これから働こうとする人たちのためのカウンセリング」でもあります。しかしながら、産業カウンセリングは、定義や背景とする理論や構造が不明確なまま推移してきていると考えられます。産業カウンセリングをメンタルヘルスカウンセリングとキャリアカウンセリングに大別して考える人が多く見られますが、メンタルヘルスカウンセリングとキャリアカウンセリングは、同じクライアントを支援するうえで、両方のアプローチが必要となる場合があります。

メンタルヘルスカウンセリングを、臨床心理学や医学の治療的モデルを基盤に心理療法として考える立場もありますが、メンタルヘルスカウンセリングはメンタルヘルス不全を抱えた人の生活や働くことを支援するカウンセリングであり、キャリア開発やキャリアカウンセリングの知見が不可欠といえます。一方、これまでの安定していた組織やルール、価値観がガラガラと音を立て変化する不確実社会が到来した今、キャリアカウンセリングにおいても、危機的な状況を克服するメンタルヘルスカウンセリングの知見も必要となってきています。

この研修では、新たな時代での「働く人たちのためのカウンセリング」について考えてみたいと思います。

ロジャーズの言う「一致」に根ざした「深い共感」とはどのようなものでしょうか。ほんものの「深い傾聴」とはどのようなものでしょうか。これまで「名人芸」とされてきた、そうした方法を体系的にトレーニングできるはじめての方法が、インタラクティブ・フォーカシング方式のリスニングです。

その特徴は「クライアント・アズ・ア・ティーチャー」(クライアントが教える)と、「二重の共感の時」という独特の構造に示されています。

今回の研修会では、短時間ですが、この方法のエッセンスをかいつまんで説明し、少しでも体験していただければと願っています。これまで、練習不可能とわれてきた「ほんものの傾聴」を学んだり、教えたりするコツをお伝えできればと思います。ぜひごいっしょに「傾聴の深さ」を体験しましょう。

産業カウンセリングの現場には様々な相談が持ち込まれます。すでに精神疾患を患っている人が相談に来る場合、そのときの精神状態を考慮しながら対応する必要があります。また不安やうつに関する相談もあるでしょう。このような場合、医療との連携は重要ですが、カウンセリングに携わる人は、ご自分でも基本的な精神医学の知識は知っておく必要があります。

今回の研修会では、「うつ病」をはじめとする、職場でよく遭遇する精神疾患について理解を深めるとともに、カウンセリングに訪れたクライアントの初期の見立てとその後の対応、医療との連携方法について学びます。

さらに以上の知識を踏まえた上で、職場のメンタルヘルスの在り方、トラブルを避けるためのポイント、最近の精神医療の実情などについてもお話しする予定です。

告白します。産業カウンセリングにおいて、アセスメントや心理テストの大切さは重々承知しているのですが、どうも馴染めません。クライアントのためにという美名の元、あの一方的で「知る人と知らない人」との間にある溝が・・・。

心理テストのヘビープロパーではない、そんな講師は心理テストを、正統的なアセスメントの読み筋と言うよりも、コミュニケーションの「媒介物」として、どのようにユーザー(クライアント?)との間で活用していくか、に重点を置いています。

応用心理学としての産業臨床では病理のアセスメントだけではない心理テストの活用が開発されることを望んでいるからこそ発想ですが、当日はちょっとだけアセスメントの本質論をまじめに語ったりもしたいものです。

人間を対象とする学問分野においては、近年、質的研究が注目されており、本学会員のなかにも取り組んでみたいと考えておられる方が多いと思われます。そこで、本研修では、質的研究とは何か、質的研究の質をどのように保証するかを学ぶと共に、質的研究ならではの倫理的問題とそこへの配慮のあり方を学修することをねらいとします。

本研修は学会倫理委員会活動の一部として設けるものです。その趣旨は、学会誌に投稿される論文、特に質的研究において、倫理的配慮に欠けるものが散見されること、質的研究ではその性質上、研究協力者が特定される可能性があり、倫理問題へと発展する危険性があることから、学会員の研究倫理に関する意識啓発を図るものです。

## 4. 申し込み等について

### <1>申し込み方法

大会参加申込書および返信はがきの研修会の欄に、上記研修コース一覧よりご希望のコース記号をご記入の上、事務局へご送付ください。その後事務局にて参加費の入金確認が終了次第、返信用ハガキにて受講決定コースをお知らせいたします。なお、一旦ご入金いただいた参加費につきましては当日参加が困難になった場合などでも返金いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

①1日コースを希望される方 → ご希望の研修コース(A~E)を第3希望までご記入ください。

②午前/午後別々の研修を希望される方 → 午前の研修コースをF~Kの中で、午後の研修コースをL~Pの中でそれぞれ第3希望までお選び下さい。

③午前または午後のみ参加を希望される方 → 研修コースF~Pまでの中から第3希望までお選び下さい。

### <2>その他

- ①お申し込みの順に受付とします。ご希望のコースが申込多数の場合は第2希望・第3希望のコースへ振り替えさせていただきます。
- ②研修会参加の申込み期限は大会参加と同じく7月17日(金)となっておりますので、期限内に手続きを済ませてください。
- ③申し込み後のコース変更につきましては、受付致しかねる場合がありますので、ご了承ください。
- ④受講教室につきましては、プログラムにてご案内いたします。

#### 研修会参加費

1) 半日コース(予約)	正会員	4,000円	(当日5,000円)
	非会員	5,000円	(当日6,000円)
	学 生	2,000円	(当日2,500円)
2) 1日コース(予約)	正会員	8,000円	(当日9,000円)
	非会員	10,000円	(当日11,000円)
	学 生	4,000円	(当日5,000円)

#### 振込先

郵便振替口座:00150-1-749819

加入者名:日本産業カウンセリング学会第14回大会

#### 銀行振り込みの場合

銀行名:ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900

店 番:019

店 名:〇十九店(ゼロイチキュウ店)

預金種目:当座

口座番号:0749819

加入者名:日本産業カウンセリング学会第14回大会

## 大会準備事務局(大会に関するお問い合わせ先)

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン1020号室  
日本産業カウンセリング学会事務局内  
第14回大会事務局  
TEL&FAX: 03-5228-4418  
e-mail: [jaic14th-taikai@amail.plala.or.jp](mailto:jaic14th-taikai@amail.plala.or.jp)

※事務局が不在の場合もありますので、できるだけメールまたはFAXにてお問い合わせください